

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

2023～2024年度クラブ目標

創立1986年

『みんなが楽しい ロータリー』



世界に希望を生み出そう

2023-24年度国際ロータリーテーマ

会長 佐藤幸彦
幹事 村上堅二



第1777回例会

令和5年10月5日(12:30～13:30)

○ソング

- 君が代 奉仕の理想

○ビジター

- 白河 RC 米山奨学生カウンセラー 原芳之様、米山奨学生 于宝宇(ウ・ホウ)様

○スマイルBOX

- 白河 RC 原芳之様(奨学生卓話の機会をいただき、ありがとうございました。奨学生の多くは学業とアルバイトで忙しいのが現状です。毎月の奨学金と声を掛け気にかけてくれるという実感は、大きな励みになりますのでよろしく願いいたします。)
- 佐藤幸彦会長(白河 RC 米山記念奨学生カウンセラー原芳之様。米山記念奨学生、于宝宇(ウ・ホウ)様、ようこそ。)
- 村上堅二幹事(本日は白河ロータリークラブの原様、于宝宇様、ありがとうございました。)
- 金田昇会員(先日の米沢中央 RC との交流ゴルフコンペは楽しく参加できました。シスター委員会のみなさん、ありがとうございました。藤田龍文さん、ご接待ありがとうございました。)
- 須藤正樹会員(お久しぶりの出席です。無事当選することができました。皆様のおかげです、ありがとうございました。)
- 池田浩章会員(白河 RC 米山奨学生カウンセラー原芳之様、于宝宇様ようこそ。米山記念奨学委員会の皆様お疲れ様でした。職業奉仕の為、早退します。結婚祝いありがとうございます。)
- 永野文雄会員(白河クラブ、原様ようこそ。米山記念委員会の皆様ありがとうございます。10月は結婚記念「月」です。プレゼントをありがとうございました。)
- 吉野敬之会員(本日は誕生日のお祝いありがとうございます。私も今年で無事還暦を迎える事ができました。これからは更に元気で過ごせるように、そして楽しいロータリーライフを過ごせるようにしていきます。)
- 中目公英会員(10月は誕生日祝いと結婚祝いとダブルでいただき、ありがとうございました。)
- 渡部勝也会員(誕生日と結婚のお祝いありがとうございます。年齢は内緒です。)
- 藤田龍文会員(誕生日、結婚祝いといただきありがとうございます。先輩を見習い精進いたします。)
- 十文字光伸会員(今回、親睦コンペで準優勝することができたのも一緒に回っていただいたプレイヤーと楽しくプレーできたからだと思います。次回も楽しく参加したいと思います。)
- 佐藤清作会員(白河ロータリークラブの米山奨学生カウンセラー原芳之幹事様、米山奨学生于宝宇様ようこそ。)
- 大竹憂子会員(結婚記念日のお祝い、ありがとうございます。忘れてました。)

▶第1777回例会出席状況 (R5年10月5日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	52名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	66名
Ⓒ ①の出席者数	24名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	5名
Ⓕ ②の出席者数	11名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	40名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	63
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	63.4%

【今週の仮メイクアップ会員】

- 9月30日 地区行事
中目公英
- 10月1日 RLI研修会
阿部克弘 十文字光伸
- 10月3日 米沢中央RC・白河西RC交流ゴルフコンペ
佐藤幸彦 吉成真五郎 前原俊治 十文字光伸 金田昇
運天直人 永野文雄 長克則 宮本多可夫 車田祐介
成井正之 堀田一彦 居川孝男 鶴丸彰紀 村上堅二

▶例会日:第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30～19:30)

▶例会場:白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局:〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5(白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

佐藤幸彦会長



皆様、こんにちは。まず初めに、お客様の紹介をいたします。白河ロータリークラブ、米山記念奨学生カウンセラー、原芳之様。米山記念奨学生、于宝子様。後程お話をいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。さて、一昨日の話になりますが米沢中央ロータリークラブ様との親睦ゴルフコンペを開催することができました。米沢中央様より12名、白河西クラブより12名の対抗戦で「グリーンアカデミー」で晴天のもと行われました。後程、詳しい優勝者とかはゴルフ愛好会のほうから発表あると思うんですが、団体戦、クラブ対抗戦がございまして、白河西が優勝しましたのでトロフィーをここに飾らせていただきました。また、夜は更に親睦を深めるということで「赤門」にて、米沢さんがプラス3名の15名、また白河西からも、居川会員、鶴丸会員、村上幹事も参加いただきまして、賑やかに親睦を深めることができました。非常に米沢中央さんも「またやろうよ。」なんて言って帰ったぐらいでございました。ありがとうございます。何点が報告あるんですが、今月号のガバナー月信にインターアクトクラブ第29回年次大会報告ということで、十文字光伸会員の報告が載っておりますので、後で話があるかと思っておりますのでどうぞよろしくお願いたします。また、先週のちょっと反省を述べます。先週の例会の私、生意気に英語で喋ったんですが、やっぱり発音が悪かったですね。Thank you for coming tryになってたんで、Thank you for coming tonightと言ったつもりだったんですがtryになってしまいました。私の発音が悪かった、申し訳ございません。もう一点報告なんですが、3年後のガバナーを決める次年度のガバナーノミニエのエントリーでございまして、9月末日をもってガバナー事務所まで締め切りになったということでございまして。立候補者が皆さんもご存じかと思っておりますけども、我が白河西ロータリーの金田昇パスト会長がただ1名の立候補ということでございまして、本日早速午後から面接があるそうでございましてので頑張って行って来てもらいたいと思っております。このままいきますと、11月11日、12日に行われる地区大会でノミニエの発表があるそうでございまして、是非皆さんで揃ってお伺いしたいなと思っております。以上でございまして、今日の例会は米山記念奨学会委員会ということで、後程、米山記念奨学生の方にもお話をいただくと同時に、よろしくお願したいと思っております。

■幹事報告

村上堅二幹事

- 2022-23年度ガバナー 佐藤正道、地区幹事 佐藤日出夫：2022-23年度地域資金決算報告書・監査報告書（案）の送付について
- ガバナー 右近八郎、国際大会委員 早川八郎：シンガポール国際大会のご案内について
- 日本事務局 業務推進室：地域社会の経済発展月間リソースのご案内
- ガバナー 右近八郎、RI規定検討委員会委員長 鈴木邦典：2023年度決議審議会決議案について（お知らせ）
- さあいこう！Project実行委員会実行委員長 班目秀雄：第10回cycle road race「城d'白河」2023オープニングセレモニーご臨席のお願い
- 矢吹ロータリークラブ会長 横山栄子：年次計画・年次報告書

■委員会報告

○雑誌広報渉外委員会

前原俊治委員



雑誌広報委員会の前原でございます。本年度の委員長は松永委員長なんですが、今年度、7月8月9月と松永委員長が『ロータリーの友』を紹介してたので、今年は全部委員長がやってくれるのかなと安心してたんですが一昨日、松永委員長から私にやれという命令があったものから、私のほうから紹介させていただきたいと思っております。それでは『ロータリーの友』、7ページから14ページに渡って「若者の自立促す支援のカタチ」という特集が組まれております。地域社会において、経済発展の力は若者が貴重な存在であるということでございまして。その中で児童養護施設の若者は、退所後経済的な面とかいろんな面で大変であるということで、そうした若者に対していろんな支援があるということで特集が組まれております。是非読んでいただければと思っております。続きまして横組みの24ページから33ページに渡って、2024年、国際ロータリーがシンガポールのほうで開催されるということで、シンガポールの特集記事が載っております。最近コロナもだいぶ終息しましたので、是非この記事を読んでいただいてシンガポールのほうに旅行の計画されてもいいんじゃないかと思っています。また、2024年国際ロータリーの国際大会があるということなので、西ロータリーでもこの機会に国際大会にも参加を検討されたいんじゃないかというふうに思っております。縦組みになりますけど、4ページから8ページに渡って「企業による障害者雇用の取り組み」という記事が載っております。障害者雇用を行っている会社の方とか今後検討してる会社の方は、非常に参考になるというふうに思っておりますので、是非読んでいただければと思っております。その他いろいろ記事も載っておりますので、『ロータリーの友』を読んでいただければというふうに思っております。

○親睦委員会

【結婚記念日】

渡部勝也会員、永野文雄会員、富永章会員、金田昇会員、池田浩章会員、中目公英会員、大竹憂子会員、藤田龍文会員、諸橋和典会員、鈴木信教会員、渡部則也会員、車田裕介会員、青木大会員、鶴丸彰紀会員、十文字光伸会員、白岩修一会員

【誕生日】

渡部勝也会員、中目公英会員、吉野敬之会員、鈴木孝幸会員、藤田龍文会員、井上敬裕会員

吉成真五郎会員

みんなが楽しいロータリ



○RLI研修会の報告

十文字光伸会員



皆様、こんにちは。阿部次年度会長とRLI研修会に参加しまして、そちらの報告をするようにと仰せつかりましたので、本日報告のほうをさせていただきます。まず、日時のが10月1日曜日。場所が「ユラックス熱海」です。9

時から16時30分まで開催されました。参加会員のほうが44名の会員の他にオブザーバーとして右近ガバナーはじめ2名のパストガバナー、合計47名で行われました。内容としては、6つのセッションに分かれまして、9時から4時近くまで各50分単位刻みでセミナーを開催したわけなんです。内容としては、グループディスカッション方式みたいな形で行われまして、初めて参加した私としては何となく日頃西ロータリーで活動してるホームミーティング、あのような感覚で楽しく参加することができました。参加研修を受けての感想なんですけど、まだまだ本当に私はわからない事だらけだなということと、何がわかんないのかということがより明確になったのかなと思います。それと、今後どういふような形で行っていけばいいのかとか、参加に対しての見方というのも新たな目線でできるのかなと思ひまして、一回目の参加ではあったんですけど、大変有意義なものになりました。また、会のほうからお話がありまして、入会歴の浅い会員の方も是非参加してくださいというお話もありましたので、今年度中に多分おそらくパート3があるみたいなので、そちらのほうにご一緒に行っていただける方がいたら、楽しく一緒に参加したいと思いますのでよろしく願いいたします。あとセッションの一つに、米山記念奨学会に対

しての協議がありましたが、私そこが一番苦手で本日、今日米山記念奨学会の話なので、本日楽しみに拝聴させていただきたいと思ひます。以上、報告とさせていただきます。

○ゴルフ愛好会

堀田一彦会長



ゴルフ愛好会のほうからご報告をさせていただきます。佐藤会長のほうからもありましたが、今週の火曜日10月3日に米沢中央ロータリークラブさんと交流コンペを「グリーンアカデミーカントリークラブ」のほうで行ってまいりました。ゴルフのほうは合計24名。懇親会のほうは「赤門」さんのほうで、米沢の平山会長はじめ15名の皆様。西クラブでは15名の、合計30名で懇親会のほうを行ってまいりました。参加された方、本当にありがとうございます。また結果のほうは、優勝は宮本先生。準優勝が十文字光伸さんということで、白河のワンツーに団体戦のほうも見事優勝ということで、僕の記憶が正しければ白河西クラブ五連覇を達成いたしました。また来年も行いますので、どうぞよろしく願いいたします。

■本日のプログラム

米山記念奨学会委員会担当例会

○米山記念奨学会委員会

安部和夫委員長



どうも皆さん、こんにちは。しばらくぶりの担当ということで緊張しておりますけど、頑張っていきたいと思ひます。本日は、米山記念奨学会例会ということで、于宝宇さんのほうに是非この場で卓話をしていただきたいということでお願いしましたところ、快く引き受けていただいて、原カウンセラー様と同席していただいた次第でございます。それでは早速、原カウンセラーさんのほうから于宝宇さんのご紹介とご挨拶をよろしく願いいたします。

○白河ロータリークラブ

原芳之様



ただ今ご紹介にあずかりました、改めまして白河ロータリークラブでは幹事ということなんですが、本日はカウンセラーということでウ・ホウウさんと一緒にお邪魔いたしました。今年から初めてのカウンセラーでして、あまり右も左もわからないんですが、実体験に基づいて、ちょっと思ったことをまとめてきましたので、ご紹介を兼ねて簡単にお話をさせていただきますと思ひます。このカウンセラー制度というものは米山奨学会の特徴の一つでありまして、単に奨学生に奨学金を支給するだけではなくて、ロータリアンが1対1でカウンセラーとしてケアにあたるシステムであります。改めまして、

彼女も先程はお名前紹介しましたがお名前はウ・ホウウさん。中国出身でして、現在は郡山の日本大学工学部に通う4年生であります。今年の4月から米山奨学生となりまして、白河ロータリークラブに来ております。奨学生には、1年生の奨学生と2年生の奨学生がおりまして、于さんは1年生の奨学生ということになります。2年生の奨学生になりますと、継続ということで同じクラブに2年間所属ということになりまして、大体ですわうちのクラブも大体1年間が多かったんですが、今R Iのほうからの指導によりまして、今後は2年間の継続のほうが多くなるのかなんていう事が先日ちょっと話しされておりました。そうしまして、米山奨学生には幾つか義務として約束されてる事があります。奨学生自身も簡単に奨学生となるわけではなくて、厳しい面接を受けましてそういう条件のもとにしっかり約束をしまして奨学生をして来ております。幾つか義務としてということで、義務なんですけどほとんど必須事項になっておまして、それが守られないと奨学金の停止なんてこともあります。まず一つは、例会に出席するということが義務付けられています。出席の際に、奨学金の支給ということが行われるわけですが、以前は例会に出席した時点で手渡しということだったんですが、今は防犯上の理由とかいろいろありまして振込でもいいですよということにはなっておりますが、基本的には必ず1回以上は出席してくださいということで、こちらは義務付けられております。その他に、家族でやるファミリーを含めた例会とかバーベキューとか、そういうのにお誘いしてるクラブもいっぱいありまして、本来はそういうふうな親密な関係を築いていけるのが理想なのかなと思います。続きまして二番目が、レポートの提出ということで年に2回、9月と2月に奨学生レポートというのを提出しております。こちらは厳しくされておまして、Webにより米山のほうに提出するわけですが、こちらを提出されないことや奨学金の停止ということがありますので、今回は頑張って先月提出していただきましたので、そこに私のカウンセラー所見というものを書きまして、今月中にまた送るような形となっております。三つ目が、クラブ卓話ということでまずスピーチをするということです。必ず例会に来た際には、一言何かスピーチをするということで。まああまり長い時間は普段からできませんので、簡単に一言スピーチをしていただくような形を取っております。もう一つは、地区の行事に参加するという事です。地区の行事が年間4回か5回くらいありまして、こちらにも一応義務ということにはなってるんですが、よっぽどの理由がない限りは出てくたさいということでもあります。幾つか地区の行事を紹介したいと思います。初めに顔合わせとしまして4月にオリエンテーションが行われます。私たちもそこで初めて顔を合わせまして、皆さん自己紹介をいただきまして、それから出会いが始まるというからお付き合い

が始まるような形でございます。二番目に、今年は第3回米山学友による世界大会というのが筑波でありました。こちらは奨学生を卒業しますと、皆さんが学友会ということに所属されます。奨学生の期間が終わりましても証明書が発行されまして永遠に消えないというか、もう米山奨学生になった限りはそういうお付き合いができるということなんですね。その卒業した学友会の方たちが主催で行われまして、世界では38か国、約1200人の方が出席されました盛大な大会となりました。2530地区からは約50名くらい。バス2台で乗り合わせまして、現地のほうの大会に参加されました。非常に盛り上がりまして、この学友の人たちが語る言葉が本当に目の前でリアルに伝わってくる言葉が多くて、涙流れるようなお話もいっぱいありまして、非常にロータリーに感謝している、世話クラブに感謝している。そして、それがあったので今がありますよということで。本当に皆さんを日本の父母として慕って、心に秘めているという思いをすごく伝えるような大会でございました。これは次行われますのは2026年ということで、台湾で行われます。もし、是非機会があれば参加していただくとよろしいのかと思います。もう一つ地区の行事としましては、先日9月2日、3日、米山梅吉記念館ということでこちらは研修旅行ということで、こちらバスツアーのほうで皆さん行って来られたということです。私はちょっと都合が合いませんので、ここには行けなかったのですが、さすがに奨学生なので若くてみんな元気がいいんですね。バスの中ではカラオケをやりながら楽しく研修旅行に行ってきたということで、まあ長い道のりではあったんですが非常に楽しかったということで喜んでおりました。続きまして、もう一つが今月のこの米山月間の各クラブ訪問ということです。こちらがやっぱり義務ということになっております。もう一つは、奨学生の体験発表というのが11月にありまして、こちらを終わると地区の行事の参加は終わりということになるんです。そうすると、今年度は5つの行事の参加ということになります。このような義務はありますけれども、これを承認して選ばれた奨学生となっておりますので、よく面倒を見てあげていただきたいと思う次第でございます。世話クラブとカウンセラーの役割についてですが、カウンセラーは奨学生のあくまでもパイプ役です。奨学生がカウンセラーをはじめ、多くの会員とも交流ができるようなムードを作り、クラブ全体で奨学生を引き受けるような形が理想なのかなと思います。カウンセラーだけが奨学生を抱えるのではなくて、皆で協力して面倒を見るというような、そのような形が理想でございます。声をかけてくださると、学生の心がやっぱりほぐれます。声をかけてくれる、気にかけてくれるという実感は、本当にこの奨学生たちの励みになるんですね。現実には、奨学生っていうのは本当にバイトと学業に非常に忙しいです。そういう中で、この奨学金の10万円。そして、相談する人がいるということは

本当にありがたいことですね。通常の米山の寄付というのと、年会費の中から当然引かれてるのが幾らかあると思います。その他に特別寄付というのがあると思うんですが、やはり奨学生に直接接すると、そういうのが非常に盛り上がってくると思います。是非温かい気持ちで、よろしくお願ひしたいと思います。

○米山記念奨学生



于宝宇様

皆さん、こんにちは。これまでの奨学生の生活で得たものや、日本留学の生活について話します。私は于宝宇と申します。日本大学工学部情報工学科の4年生です。中国から参りました。今年の4月から米山奨学生になりました。世話クラブは、白河クラブです。2018年に日本に留学して、そろそろ6年目になります。日本に来た時、埼玉県さいたま市の浦和の日本語学校で2年間日本語を勉強しました。その日本語学校を卒業した後、ネットワークに関する情報エンジニアになりたい。特に、地震などの災害発生する時のネットワーク整備を方法を研究したいと考え、日本大学工学部情報工学科で学んでいます。大学卒業後、大学院に進学したいと思います。今年の4月から、米山奨学生になってもう半年を過ごしました。この半年間は、私の今までの留学生の生活の中で最も充実した半年だと思ひます。毎月、例会に参加したことによって、いろいろな事を勉強になりました。初めて例会に出席する時ずっと緊張しましたが、皆様が優しくしてくれて本当にありがたうございます。これ前は、人の前で話すのが苦手だった私が今はだんだん平気で話せるようになりました。クラブで出席するたび、いつもクラブの皆様は温かい笑顔で迎えられ、本当に家族のように感じます。また、第3回米山学友会による世界大会や、米山梅吉記念館研修旅行や、クラブの工場見学など、行事に参加しました。学校や研究などで得られない幅広い分野の人と交流や、日本の文化なども体験できました。そのようないろいろな経験を、普通の留学生活ではなかなか得られない宝物です。普通の留学生活では、勉強やバイトですが、米山奨学生になることによって、様々な人と出会うことや様々な事を勉強することになりました。それをこれから社会に出た時も、きっと役に立つと思ひます。ロータリークラブは私たち奨学生にお金の支援だけではなく、いろいろな事を体験させてくださいました。ロータリアンの皆様には本当に感謝しています。以上です。ご清聴ありがとうございました。

○質問コーナー

安部和夫委員長

福島の影響はどうでしょうか。食べ物はどうですか。

于宝宇様

福島の人は優しい人がいっぱいあります。食べ物もほとんど慣れました好きです。

佐藤幸彦会長

先程、日本語学校行って慣れたということですね、一番最初に来た時は埼玉？その時一番困ったことは何ですか。

于宝宇様

やはり、言葉ですね。あと、いろいろの文化の違いと思ひます。

佐藤幸彦会長

例えば、文化の違いといひますと。

于宝宇様

初めてのバイトする時は、ちょっと浦和の居酒屋さんのキッチンでした。その時は、板長が話すの時はちょっと聞き取れませんが、ちょっともう一度言ってくださいと伝えましたが、でもちょっと中国の習慣ですと聞き取れた時は「あー」と言って、実際は「あー」ですが、何ですかという意味ですね。日本の文化はちょっと「はあ」みたいで、全然そんな意味はちょっと伝えたくなかったですね。「あー」は中国でよく使える。若い人たちはちょっと「あ」何が言いましたか、ちょっと聞こえませんでした、ちょっともう一度言ってくださいという意味ですね。でも、日本はちょっと失礼なことです。はい。そういう事を一番思ひ出した。

安部和夫委員長

あの中国にはたびたび帰られるんですか。

于宝宇様

はい。日本大学入学前3年半前に帰りました。その後はなかなか時間が合わないので帰られませんでした。

○米山記念奨学会委員会

安部和夫委員長

はい。私、米山の記念奨学会の委員長というの、多分私の記憶では3回ございまして。なんか私が米山に向いてるのか向いてないのかよくわかりませんが、私にとっては有意義な重みのある立場だと思ひますので、それなりに頑張ってきました。特に2009年から2010年の年度におきまして、当時会長が木村さんで幹事が山口さんだったというふうに記憶しております。その委員長の時に、学友だけというか中心で作っているクラブが外国に二つあるということで、そこを

是非訪問したいということで、いろいろコンタクトを取って、台湾に二つあったんですね。その中で、台中の台中ウシンロータリークラブという所に表敬訪問をさせていただきました。その時に、感銘を受けたのは当時その会が発足して4年目だったんですが、初代、二代、三代と全部学友の人でした。四年目は学友経験ないということなんですが、日本語の対応全部していただいて、全然言葉については困りませんでした。それで、皆さんが日本でお世話になったことを感謝して、日本の台湾に行った学生をお世話するという事業を毎年行っているということで、当時私どもが表敬訪問した時に、日本の学生さんもお見えになっておりました。すごく熱烈歓迎していただいて、日本から白河だるまを持って行って、今、名誉会員である今井さんのほうからそのだるまの説明をしたら、すごく面白がって熱烈に歓迎していただいたということで、本当に楽しい思い出になりました。それから、米山の今の現況についてちょっと説明させていただきますが、今年、米山留学生は900人くらいですね。平成4年以前は大体1000名くらいだったんですが、バブルが弾けてロータリー数が減少したということで、一時700人くらいまで落ちたんですね。今は、900人くらいまで盛り返したということとなっております。あとはその留学生の分布なんですが、今日、于さんお見えになってるんですが、中国の方は大体三分の一くらいということで、

あと二番目に韓国、台湾というふうになっておりますが。最近では、ベトナムとかマレーシア、インドネシアあたりのアジア諸国のほうが多くなってますね。それで、世界全体で130か国くらい奨学生が来てるんですが、その中でその東南アジアにおけるパーセンテージは95パーセントということで、ほとんどは東南アジアからお見えになってるということだそうです。今はどちらかというと、日本もそんなに裕福じゃなくなっちゃったので、前みたいに経済的なお世話するためって事だけではなく、来ていただいて日本をよく知っていただいて、その友好の懸け橋になっていただくということで意義があるのかなというふうに、私個人では思っております。とりとめない話なんですが、私の感想とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。



米沢中央RC・白河西RC交流ゴルフコンペ



優勝	宮本多可夫	13位	成井 正之
準優勝	十文字光伸	14位	松田 純一
3位	柳沢 昭	15位	梅津 勇
4位	車田 祐介	16位	前原 俊治
5位	宮嶋 敏郎	17位	坂下 良行
6位	長 克則	18位	永野 文雄
7位	安部 徳朗	19位	吉成真五郎
8位	赤間 俊明	20位	運天 直人
9位	堀田 一彦	21位	高橋 潤仁
10位	佐藤 幸彦	22位	木村 芳浩
11位	赤木 照一	23位	船山 隆
12位	吉澤 彰浩	24位	金田 昇